

JR東海労なごや

2017年11月13 日No. 1093
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：教宣部

タブレット導入に待った！！

11月28日からタブレット端末を一部線区で導入するとマスコミ等で報道されています。情報等で明らかにしてきたようにタブレット端末には多くの問題があります。

運転士の作業が非常に増えること。
乗務鞆に物が入りきらない状態でどこに仕舞うのか。
また折り返しなどで時間がない場合はどうするのか。
今まで以上に前方注視が出来ない状態になる。

などなど様々な問題が未解決のままです。現場では何度も訓練を行っていますが、「教える側も教わる側もよく分からない」との声や、シュミレーション（EDS）を行ったときは、「気がついたときには場内信号機が過ぎていた。EBが動作してしまった」これではかえって事故が増えるのではないかの声が囁かれています。

使うものの意見を十分聞かずに作り手のみの考え方で導入すれば職場は混乱するだけです。名古屋地本は11月9日に会社に対して、タブレット端末導入延期を申し入れました。

JR東海労名古屋地本申第6号
2017年11月9日

東海旅客鉄道株式会社
東海鉄道事業本部

本部長 森 厚人 殿

JR東海労働組合名古屋地方本部
執行委員長 山田哲也

タブレット導入について

一部の線区において、今月末から運転士にタブレットの携帯が行われる。現場においては、この間に数度の訓練が行われている。しかし、現場での意見は「扱い方がわからない」「システムエラーが多いが大丈夫か」「かえって気が散って事故が増える」など否定的である。導入によりやることが非常に増えることも問題である。

東海労名古屋地本は、様々な問題を置き去りにしたままのタブレット導入は反対である。扱う側が負担を感じないシステムが確立されるまでは導入を延期すべきと考える。

下記のとおり申し入れるので、早急に団体交渉若しくは業務委員会を開催し誠意ある回答をすること。

記

1. 運転士タブレットの導入を延期すること。

以上

タブレット導入は時期尚早だ！！